

## 通期の見通し

平成 23 年度の販売電力量については、第 3 四半期までの実績に加え、今後についても電力需要が弱含みで推移するとの見通しを踏まえた結果、前回公表した想定値（2,671 億 kWh）を下回る 2,645 億 kWh を見込んでおります。

売上高は、前回公表した想定値（連結：5 兆 3,150 億円程度、単独：5 兆 800 億円程度）を連結で 5 兆 2,800 億円程度、単独で 5 兆 400 億円程度に変更いたしました。

一方、費用面では、電気事業において、電力需要が弱含みで推移することに加え、為替の円高化などに伴い燃料費の減少が見込まれます。

これらにより、経常損益は、前回公表した想定値（損失として、連結：4,000 億円程度、単独：4,100 億円程度）を変更し、損失として、連結で 3,900 億円程度、単独で 3,950 億円程度になるものと見込んでおります。

また、当期純損益は、前回公表した想定値（損失として、連結：6,000 億円程度、単独：5,750 億円程度）を変更し、損失として、連結で 6,950 億円程度、単独で 6,650 億円程度になるものと見込んでおります。

### <連結>

売上高	5 兆 2,800 億円程度
経常損益	3,900 億円程度
当期純損益	6,950 億円程度

### <単独>

売上高	5 兆 400 億円程度
経常損益	3,950 億円程度
当期純損益	6,650 億円程度